

⑪公開実用新案公報(U) 昭62-2158

⑤Int.Cl.
H 01 M 2/10識別記号 廃内整理番号
J-6821-5H

⑥公開 昭和62年(1987)1月8日

審査請求 未請求 (全3頁)

⑦考案の名称 異種電池共用型の電池ケース

- ⑧実願 昭60-169390
 ⑨出願 昭60(1985)6月20日
 ⑩実願 昭60-94048の分割

⑪考案者 秦 良 彰 大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル ミノルタ
 カメラ株式会社内
 ⑫考案者 宝田 武夫 大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル ミノルタ
 カメラ株式会社内
 ⑬考案者 谷口 信行 大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル ミノルタ
 カメラ株式会社内
 ⑭考案者 大塚 博司 大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル ミノルタ
 カメラ株式会社内
 ⑮出願人 ミノルタカメラ株式会社 大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル
 ⑯代理人 弁理士 岡田 和秀

⑰実用新案登録請求の範囲

(1) パッケージ型の第1電池と、この第1電池の高さとほぼ等しい長さをもつ複数の筒状の第2電池とを選択的に収納可能な電池ケースであつて、

前記第1電池の断面形状とほぼ一致する断面形状を有し、かつ前記複数の第2電池のすべてを少なくとも2つずつ当接させた状態でそれら複数の第2電池のうちの少なくとも1つの第2電池の周面部の一部分をはめ込む凹入部を前記第1電池の収納部分から外方に位置させた状態で有するケース本体と、

このケース本体に対して開閉自在に設けられ、前記ケース本体とともに前記第1電池と前記複数の電2電池とに共通な電池室を形成する電池蓋

とを備え、

前記電池室に前記第1電池を収納した状態では、前記電池室の内周面のうちの前記凹入部以外の内周面で前記第1電池を位置規制し、かつ、前記電池室に前記複数の第2電池を収納した状態では、第2電池どうしの当接および前記

凹入部に対する第2電池のはまり込みによつて前記すべての第2電池を位置規制するように構成してあることを特徴とする異種電池共用型の電池ケース。

(2) 前記凹入部が、前記第2電池の径よりもやや小さい径を有するとともに、その内周面に弹性を有するものに構成されている実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の異種電池共用型の電池ケース。

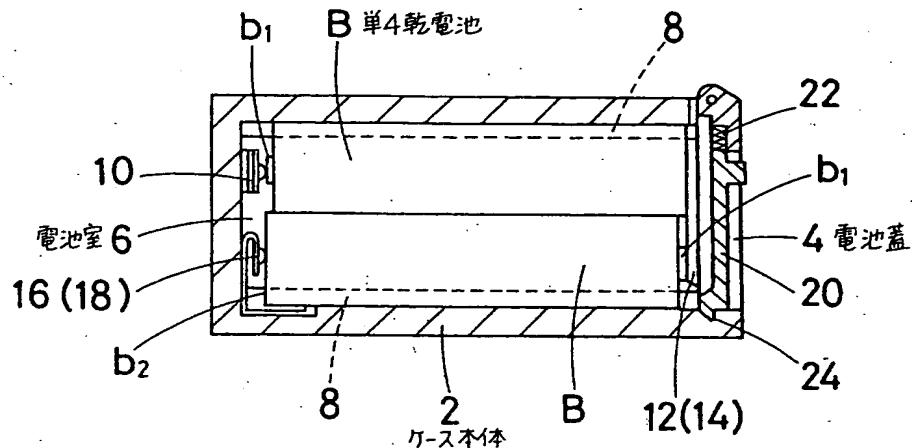
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例に係る異種電池共用型の電池ケースにおいて、単4乾電池が収納された状態の断面図、第2図は電池蓋を除いた状態の底面図である。第3図は別の実施例に係る電池ケースの電池蓋を除いた状態の底面図である。第4図は、本考案の実施例の異種電池共用型の電池ケースに収納されるうる電池の種類を示す側面図および平面図である。即ち、同図のa-1, a-2はリチウムパッケージの側面図と平面図、同図のb-1, b-2は単4乾電池の側面図と平面図である。

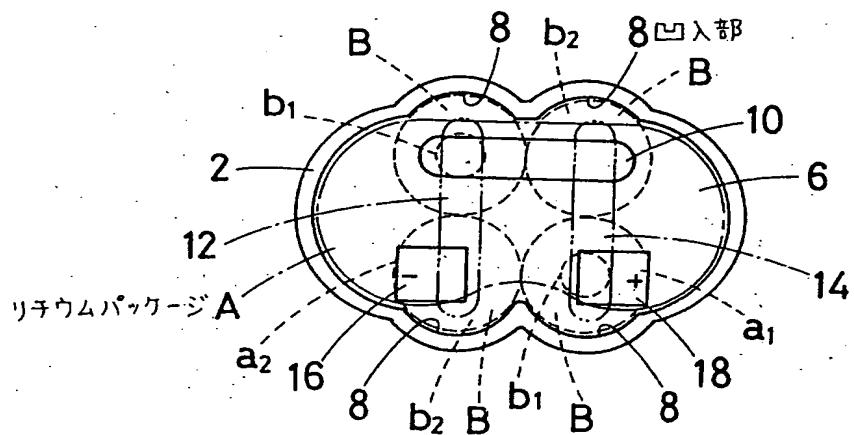
A…リチウムパッケージ(第1電池)、B…単

4 乾電池（第2電池）、2 … ケース本体、4 … 電池蓋、6 … 電池室、8 … 凹入部。

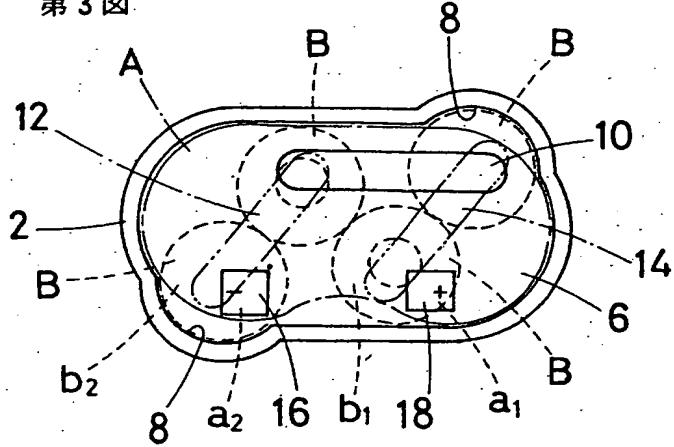
第1図



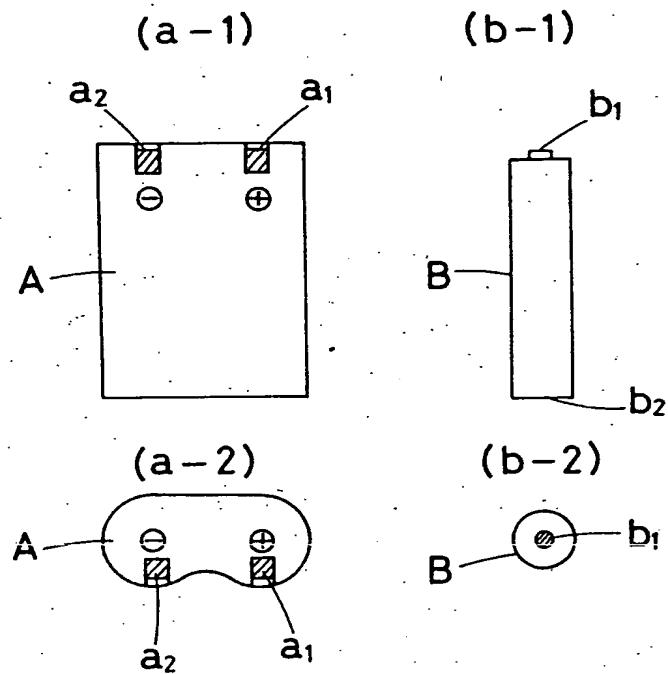
第2図



第3図



第4図





THIS PAGE BLANK (USPTO)